

第4学年 図画工作科学学習指導案

令和7年 6月17日(水)
場所 図工室

1 題材名 ビー玉アスレチックめいろ

2 目標

材料の感じや、ビー玉を転がすことから自分なりのイメージをもち表したいことを見つけ、材料の特徴を生かしながら工夫して表す。

3 評価規準

- 画用紙や片面段ボールを切ったり折ったりする感覚や、行為を通して、形や色、その組み合わせなどによる感じがわかっている。(知識・技能)
- はさみや定規、接着剤などの用具を適切に扱うとともに、前学年までの経験を生かし、つくりたいコースや全体の形や色などの表し方を工夫して表わしている。(知識・技能)
- 材料の感じや、ビー玉を転がすことから自分なりのイメージをもち表したいことを見つけ、材料の特徴を生かしながらどのように表すかについて考えている。(思考力、判断力、表現力)
- 自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。(思考力、判断力、表現力)
- ビー玉を転がすめいろをつくったり、友達のつくり方のよさや面白さを感じたりする学習活動に進んで取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

4 題材について

本題材は、画用紙や片面段ボールなどの材料のよさを生かして、ビー玉が転がっていく楽しいコースを発想してつくっていく活動である。紙材料を活用していくと同時に、接着の方法を考え、接着剤やステープラー、セロハンテープなどの特徴を考えながら、場面ごとに選んだり組み合わせたりして適切に使用する力を培っていくことを目指す。また、前学年までの経験を生かし、つくりたいコースや全体の形や色を自分なりに工夫して表すことを経験させたい。友達同士の関わりの中で、お互いの思いや考えを深め、新たな視点や気づきを得られるようにしたい

5 児童の実態

図工専科と図工室で授業をするようになったのは3年生からで、今年度が2年目である。自分の表現に自信をもち楽しみながら活動できる児童が多くいる一方で、表現することに自信がない児童も見受けられる。今回は主材料として児童になじみのある紙材料を使うことで、自分のつくりたいコースや仕掛けなどを自信をもって表現してほしい。また、複数の材料の中から自分の表現にあった材料を選択したり、「切る」、「貼る」、「つなぐ」など加工方法を試したりして、より楽しいビー玉めいろをつくることを追求してほしい。

6 研究の視点（子供の思考を促す教員のはたらきかけ）

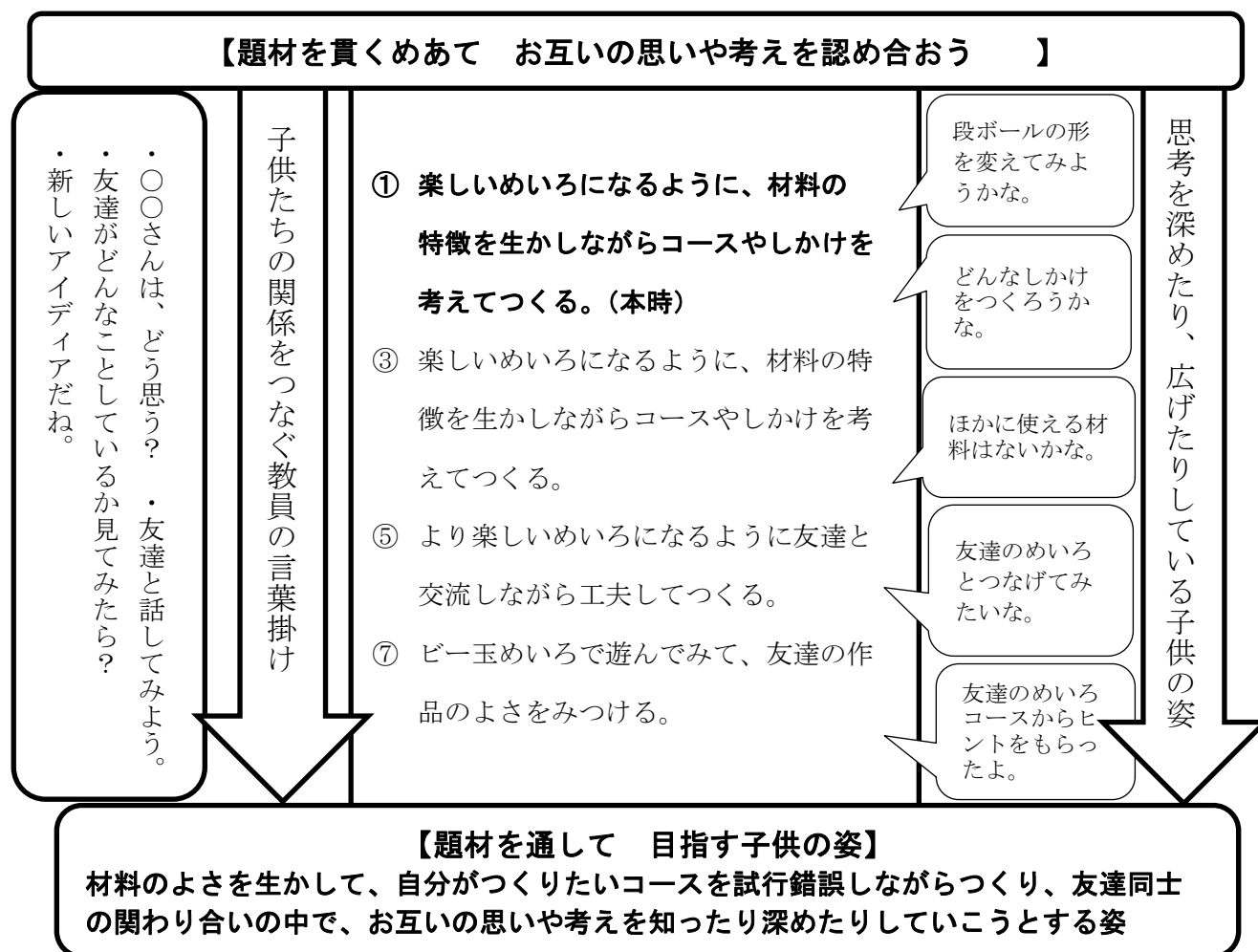
【A 主体的に取り組める学習課題の設定】

- ・一人一人の段ボール（土台）を用意することで、自分のつくりたいコースを試行錯誤しながら見つけ、どのように表すかつくりつくりかえながら進めることができるようにする。
- ・複数の材料の中から自分の表現に合った材料を選択し、自分の表現を広げたり、深めたりする。

【D 協働的に学び思考を深める場の設定】

- ・鑑賞や活動中の友達同士の関わり合いの中で、お互いの思いや考えを知ったり深めたりして、新たな視点や気づきを得ることができるようにする。

7 題材構想（7時間扱い 本時1. 2／7）



8 本題材における、主体的に考え、共に学び合う子供の姿

本題材における「主体的に考え、共に学び合う子供の姿」とは、自分がつくりたいコースを試行錯誤しながらつくり、お互いの思いや考えを知ったり深めたりしていこうとする姿である。材料コーナーにある材料から自分の思いに合わせて材料を選び取り、自分の作品に生かしていくこと。また、友達同士の関わりが増えるようお互いの作品をみたり遊んだりする時間を設定することで主体的に活動ができると考える。

9 本時の目標（1. 2／7）

- ・楽しいめいろになるように、材料の特徴を生かしながらコースやしかけを考えよう。

10 学習過程

	○学習活動・内容 T：教員の発問 C：児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法） ★研究の視点
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>楽しいめいろになるように材料の特徴を生かしながらコースやしかけを考えよう。</p> </div> <p>○本時の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考作品をみて、造形的な視点に気付く。 ・友達の意見を聞きながら、自分はどのようなコースにするか考える。 ・基本的な紙の扱いや、接着の方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな工夫ができそうか、児童に問いかけながらコースのアイディアを共有する。 ◇ビー玉を転がすめいろをつくったり、友達のつくり方のよさや面白さを感じたりする学習活動に進んで取り組もうとしている。（態・発言） ・基本的な紙の扱いや、接着の方法を確認する。
展開	<p>○コースを考えてつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「切る」、「折る」、「貼る」、「つなぐ」など、紙のできるコースを基本に、どんなコースにするかを考える。 ・使いたい材料を選択し、いろいろなコースや仕掛けを試しながらつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなかアイディア出ない児童には、友達の作品を参考にさせたり、使いやすい材料を勧めたりして、助言する。 ◇材料の感じや、ビー玉を転がすことから自分なりのイメージをもち表したいことを見つけ、材料の特徴を生かしながらどのように表すかについて考えている。 ★一人一人の段ボール（土台）を用意することで、自分の表したいこと（つくりたいコース）を試行錯誤しながら見つけ、どのように表すか、つくりつくりかえながら進めることができるようにする。【A 主体的に取り組める学習課題の設定】 ・主材料に加え、児童の実態に合わせ、使いたいと要望のあった材料も用意する。 ★複数の材料の中から自分の表現に合った材料を選択し、自分の表現を広げたり、深めたりする。【A 主体的に取り組める学習課題の設定】
	<p>○まとめ、片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の振り返りをする。 ・次時への見通しをもつ。 ・片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫したコースをつくっている児童の作品を紹介する。 ・次時の活動についての話をする。